

新時代の医療を支える先進のサービス
「検査」を通して予防医療の発展に貢献する

日本の医療は、いま、大きく変貌を遂げよう
としています。

医療技術のめざましい進歩、QOLの向上に
伴う予防医学への関心の高まり、さらには急
速な高齢化によって医療に対するニーズは無
限に拡大し、ま

たその要求水準
も年々高くなっ
ています。

発病する前の段
階である「未病」の
段階から、健康
を維持しようと
いう予防医療の
考え方が世界的
に広まっていま
す。患者様が自
分の病気につい
てのリスクを知

ることは、生活習慣の改善に有効であること
は言うまでもありません。

このような予防医療において、その一端を担っ
ている「検査」は、インフォームドコンセント
においても極めて重要なファクターになってお
り、「検査」の診断における役割はますます大
きくなってきています。この「検査」から、将
来起こり得る病気のリスクを予測し、予防する
予防医療を通じ、健康で豊かな社会生活の実現

自費研 plus 巻頭特集

「検査」と言う名の 新たななる 医療サービス

がん、気分障害、加齢…身体の不調や
トラブルの原因を探る

患者様の医療サービスへの、ますます高まるニーズや
予防医学への注目度に応えるために、「検査」を導入して、
信頼を勝ち取りリピート率を上げる…
これこそが新たな医療の時代を乗り越える力なのです。

し、その「検査」を通して患者様の信頼に応え
なければなりません。そんな中、目指すべき
は「検査」・「予防」・「治療」のそれぞれのフェー
ズにおける、新しい技術の普及と発展です。
病気のリスク診断や、病気にならないカラダ
づくりを推進し、治療が必要になる前の段
階で病気を予測・予防する、新しい医療「検
査」の可能性をこの特集から追求してみたい
と思います。

に貢献することが求められているのです。
医師やクリニックが、その責任を果たすため
には、絶えず新しい「検査」や治療技術を取り
入れ、迅速で、かつより質の高いサービスが
提供できるよう、常に自己変革を行っていく
ことが必要です。
地域医療の発展に貢献すべく、最新の技術と
質の高いサービスで新たな「検査」体制を構築

COVER DOCTOR

帝京大学三石総合医療センター第三内科教授
予防医療のプロデュース株式会社「小松医療企画」
代表取締役 **小松 恒彦 先生**

アンチエイジング医療を実践すべく
自ら会社「小松医療企画」を設立

2016年1月に立ち上げたばかりのアン
チエイジングのすべてに関わる社員6名の会
社です。食事指導や運動のお手伝い、栄養補
助食品としてのサプリメントの調達、検査項
目のアドバイス等を会社組織で行っています。
業務は医療ビジネス全般ですが、現在、もっ
とも力を入れているのがエイジングケアの分
野です。特にこれまで診断を受けることなく
供給されることが多かったサプリメントを、
まずきちんとした「検査と診断」を行ってうえ
で、その方が必要とする栄養素を信頼できる
サプリメントで補ってもらいたいというのが
基本的な考えです。

食事ではなかなか摂れない栄養素や、物質
的に食物から摂ることが難しい栄養素をサプ
リメントで補助。さらに、お一人おひとりの
負担にならない費用で、生活習慣として根付
くこと。食事も運動も継続していただくこと
が重要なので、持続可能なプログラムをご提
案しております。

最近、私が注目しているのが酸化ストレス
です。状態や予算に応じて、ビタミンC、
E、コエンザイムQ10、レスベラトロール
等の抗酸化サプリメントをご提案いたします。
また、日本人は骨や精神状態、さらにはがん
の抑制効果もあるといわれているビタミンD
3が足りない人が多いとされています。食事
だけでは摂取が不十分なため、多くの場合、
サプリメントによる補充が必要です。

最終的にはアマゾンのように、もっと気楽
にアクセスできて、ご自身の状態を評価し、
その結果に応じたサプリメントが提案され、
お気軽に購入していただけるシステムを構築
したいと考えています。できるだけ多くの方
にエイジングケアのメリットを享受してい
たくことが目的です。